

まほろん

通信

2022

春
VOL.83号

2022年まほろん実技講座
ラインナップ発表!

【施設紹介】

とみおかアーカイブ・ミュージアム

団体見学のご案内

—みんなでLET'S GO TO THEまほろん—

まほろんでは新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策に取り組んでいます。特に体験活動については、職員との接触や近距離での活動を控えています。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。



! NEW !

「まほろん実技講座 ラインナップ」

LOOK BACK ON 2021 &
LINEUP ON 2022

まほろん開館 20 周年を迎えた昨年の
実技講座をふりかえりつつ、今年の実
技講座をご紹介します。

文：福田秀生（副主幹）



まほろんでは、収蔵する出土品等を基に原始・古代のモノづくりに関する学習を目的として、受講者を事前に募集して「実技講座」を開催しています。

ふりかえる 2021 （令和3年）

令和3年度は縄文土器などの土器や土偶づくりをはじめとして、全5講座を実施しました。「本物の出土品」を間近で観察して、文様や装飾を施していきました。特に「土偶づくりに挑戦」では、まほろん収蔵土偶の構造調査として実施したX線CT撮影による画像を利用し、土偶の内部構造や手足・頭部の接合方法などを観察しながら製作することで、当時の製作方法を追体験でき、受講者からは好評を博しました。

ラインナップ 2022 （令和4年）

次に、令和4年度のまほろん実技講座（下表参照）のラインナップをご紹介します。「相馬焼に挑戦」は令和2年度から継続する講座で、白河市に窯を開いた^{いかりやがま}碓屋窯さんを講師に招いて、伝統的な技法で相馬焼を製作します。「U-15実技講座」は夏の企画展「U-15の考古学」に関連して、主に子どもたちを対象として、土器や土偶の製作方法を学習します。「ガラス玉づくり実験」では、昨年度の実技講座で製作したガラスを素材として、ガラス玉をつくる実験を行います。「土師器づくり」は、冬の企画展「古代の矢吹が原」に関連して古墳時代の土師器（^{つみ}坏・^{かめ}甕・鉢など）のセットを製作します。

実技講座 ラインナップ

- 「大堀相馬焼に挑戦」（全2工程）
印花づくり 5/29（日） 成形・施文 6/26（日）
- 「U-15実技講座 土器を作ろう」（2回開催）
7/30（土）・7/31（日）
- 「U-15実技講座 土偶を作ろう」（2回開催）
9/10（土）・9/11（日）
- 「ガラス玉づくり実験」（全2工程）
鋳型づくり 11/12（土）、操業実験 12/10（土）
- 「土師器づくり」（全2工程）
製作 1/21～25、野焼き 3/12（日）

まほろん実技講座の募集など詳細については、開催時期が近くなりましたら、「まほろんホームページ」や館内ポスターなどでお知らせします。昔の人々の生活や技術を体験できる講座となっていますので、^{ふる}奮っての参加をお待ちしております。

表紙の7枚

こちらの写真は2022年2月13・20日に行われたガラス実験講座での一コマです。参加者が手作りした^{るつぼ}坩堝にガラスの原材料を入れ、復元した古代炉に火をくべて高温にし、ガラスに変化した様子です。参加者はガラスができる瞬間を熱心に見ていました。

まほろん 随時更新中！
公式SNS フォロー&チャンネル登録お待ちしております！

YOU
TUBE



INSTA
GRAM



MAHORON.OFFICIAL

施設紹介

とみおかアーカイブ・ミュージアム

昨年、富岡町にオープンした、とみおかアーカイブ・ミュージアムの開館への道のりなどについて、富岡町教育委員会の三瓶秀文さんにお話を伺いました。

聞き手：大山 孝正（専門学芸員）

とみおかアーカイブ・ミュージアムは、東日本大震災とそれに伴う原発事故で被災した富岡町に、昨年七月一日にオープンしました。今回は、富岡町生涯学習課の三瓶秀文さんに、開館までの経緯、見どころ、今後の展望等についてお聞きしました。

●とみおかアーカイブ・ミュージアムは「震災・原発事故を地域の歴史のなかに位置づける」ことを基本コンセプトとされていますが、開館までの経緯について、お話し



とみおかアーカイブ・ミュージアム建物外観

ただけですか？

三瓶：富岡町は、震災直後から全町が警戒区域となり、自由に立入りできなくなりまし。富岡町歴史民俗資料館の収蔵資料は、二〇一二年から文化財レスキューで救出され、まほろんの仮保管施設に仮置きされましたが、個人所有の地域資料の多くが無人の町内に残されました。その後、放射線量に応じた区域再編、避難解除とともに、家屋の解体が進むなど、貴重な資料の多くが失われる懸念が高まりました。一方、震災と原発事故の事実を伝える「震災遺産」も町内に多く残り、その保全を求める声も高まりました。こうした中で、富岡町歴史・文化等保存プロジェクトチーム（通称、歴史PT）が、二〇一四年六月に発足し、その資料保全活動の成果として、



ジオラマで再現された昔の富岡町の祭りの風景



住民有志が多数参加して行われた被災パトカーの保全作業

て、二〇一七年四月に富岡町震災遺産保全等に関する条例が制定、さらに地域資料と震災遺産を後世に伝えるアーカイブ施設の基本構想がまとめられました。具体的な施設設計等を経て、昨年七月に、とみおかアーカイブ・ミュージアムとして開館しました。

●「アーカイブ・ミュージアム」という名称は、全国的にも珍しいと思いますが、どのような思いが込められているのでしょうか？

三瓶：「アーカイブ」は「記録すること、資料を整理・保存して活用すること」を意味します。これには、東日本大震災と原発事故の影響拡大による、原子力災害の風化防止と経験を発信・継承することにも、富岡町の歴史・文化・地域性を伝える資料・情報の記録、保存と継承を図ってい

くという思いが込められています。

●様々な資料が展示されていると思いますが、見学者からの反響が特に大きい展示やコーナーなどはありますか？

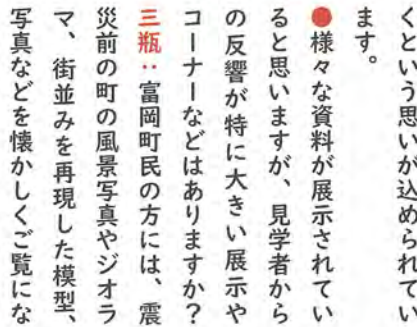
三瓶：富岡町民の方には、震災前の町の風景写真やジオラマ、街並みを再現した模型、写真などを懐かしくご覧になる方が多いです。また、三・一一当日に津波避難の誘導中に被災し殉職した警官二名が乗っていた福島県警のバトカーや、当日夜に原発の状況が悪化し、極度の緊張感の中で、町民の避難等の情報収集や指示に当たった、一夜だけの町の災害対策本部を再現した展示など、当館設立の理念の中核にある「震災遺産」に関する展示は、ぜひ、町内外の方々にもご覧いただきたいです、実際に反響も大きいです。

●最後に、これからの展望についてお話しいただけますか？

三瓶：富岡町の歴史・文化、震災と原発事故の記録・記憶を後世に伝えることはもちろんですが、富岡町という地域を見つめながら、「地域とは何か」「歴史とは何か」を考え、学び伝える施設としていきたいと考えます。具体的なソフト事業としては、土器づくり、塩づくりなどのワークショップ、企画展の開催、学校・生涯学習事業、図書館との連携等も進めていく予定です。主に公式Facebookで情報発信をしています。ぜひ、ご来館ください。●ありがとうございます。なお、常設展示室にて、まほろん収蔵資料も展示されています。ぜひご覧ください。



展示室内部のようす



3・11当日の町の災害対策本部の再現展示

とみおかアーカイブ・ミュージアム

住所：福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚 760 番地の 1
 電話：0240-25-8644
 開館時間：9時から17時（入館は16時30分まで）
 入館無料。

館の情報は、Facebook 、instagram をご確認ください（ホームページなし）
 休館日：月曜日（祝日の場合は翌火曜日）、年末年始。

※ 2022.3.16 に発生した福島県沖を震源とする地震により、とみおかアーカイブ・ミュージアムは展示等に被害があり、一時休館となりました。3.26 に部分開館、常設展示室は4月中旬頃の再開見込みです。訪問時には事前に同館のFacebook等で開館状況をご確認ください。

団体見学のご案内

みんな LET'S GO TO THE まほろん

文：鶴見諒平（主任学芸員）
青木愛子（学芸員）

まほろんでは新型コロナウイルス感染症対策を慎重に行いながら団体見学の申し込みを受け付けています。まほろんの施設には館内展示室（常設展示室・特別展示室）、野外展示、一般収蔵庫、特別収蔵庫（温湿度管理が必要な資料を保管）などがあります。

その中で団体見学時にご利用いただける施設・内容についてご紹介します。

常設展示見学 まずはコレ!

まほろんの常設展示は大きく2つのゾーンに分かれています。1つは「くらしのうつりかわり」をテーマに昭和～旧石器時代の食卓風景を再現して、むかしの人々のくらしの様子を伝えるゾーンです。家の中の様子や使われていた道具がどう変化していったかを知ることができる展示です。

もう1つは「くらしを支えた道具たち」をテーマにしたゾーンです。遺跡からの出土品と復元品を合わせて展示し、これ

らを比較しながら出土品がどのように使われていたかを学ぶことができます。

見学の際には、学芸員が各コーナーの内容をわかりやすく解説します。歴史の授業や生涯学習の機会に合わせて見学することがおすすめです。福島の昔のくらしや道具について知りたい時はぜひご利用ください。

イチオシ! バックヤードツアー

バックヤードツアーでは、普段は見ることのできない一般収蔵庫にご案内します。収蔵庫には福島県内の発掘調査で出土した土器や石器などの遺物、復元品が収蔵されています。

収蔵庫内にある土器石器観察コーナーでは、ガラスケース越しではなく、間近で本物の土器や石器などを見て、土器の文様や作り方、石器の割れ方など、むかしの人たちの技術を知ることができます。団体利用時のみ見学できる場所です。ご利用お待ちしております。

イチオシ! むかしの道具をみてみよう

「むかしの人はどのような道具を使って生活していたのか？」社会科の教科書で見るむかしの道具について、学芸員がわかりやすく、見学者の前で実演・解説します。

特に3年生の社会科の授業で「むかしの道具」の学習の際におすすめです。



野外展示では毎週水曜・土曜に
炬やカマドにて「火焚き」を
しています。

団体見学メニュー 一覧

メニュー	所要時間
常設展示	20～30分
野外展示	20～30分
特別展示	15～30分
バックヤードツアー	15～20分
むかしの道具をみてみよう	15～20分

※その他体験メニューについては、お電話でのお問合せ、もしくはまほろんホームページをごらんください。

- ・団体利用の詳しい申込方法はまほろんホームページの「団体利用」のページをご覧ください。
- ・一団体の人数は最大60名（引率者を含む）とさせていただきます。
- ・人数が60名以上の場合、時間差見学・分散入室など事前にご相談させていただきます。
- ・見学時間は目安です。見学所要時間に合わせて調整します。詳しくはお申し込み時にご相談ください。

（4月20日現在）※感染症拡大の状況によって変更します

まほろんの主な今後の予定

※各講座・講演会は事前申込制です。～5/8（日）企画展「戦後ふくしまの考古学」

※新型コロナウイルス感染拡大状況 5/17（火）～

等により予定が変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせ頂く
実技講座（WEB配信）「おうちでできる土器づくり」

か、まほろんのホームページをご覧ください。 5/29（日）・6/26（日）

実技講座「大堀相馬焼に挑戦」（全2回）

6/5（日）第1回館長講演会

申込みは
5/15（日）まで

6/12（日）～まほろん森の塾（全5回）

6/18（土）～9/25（日）

収蔵資料展「U（アンダー）- 15の考古学」（仮題）

編集後記

春といえば新生活のはじまる季節。まほろんも新たな気持ちでみなさまと歩んでいきたいと思えます。今号で特集した「とみおかアーカイブ・ミュージアム」の資料ですが、まほろんの職員も設立や展示している資料の保存修復に関わってきました。また震災時に富岡町歴史民俗資料館にあった文化財を救援し、まほろんの施設にて保管していました。その資料が再び地元にて展示されるようになり、大変喜ばしいことと思います。

まほろん
通信
vol. 83

令和4年4月20日発行

開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）
休館日 月曜日（月曜日が祝日・休日の場合にはその翌日）/ 国民の祝日の翌日（※4/30・5/6は開館）/ 年末年始（12/28～1/4）
入館料 無料（体験学習によっては、材料費が必要な場合があります。）

お問い合わせ



〒961-0835 福島県白河市白坂一里段 86

☎ 0248-21-0700

fax 0248-21-1075

ホームページ

まほろん

検索

